

## 初の高校生受入れ 2017年1月24日 職場体験学習

大阪体育大学 浪商高等学校の1年生男子9名と女子1名が職場体験に来てくれました。  
初めての高校生の職場体験でしたが、ノウハウもないのでいつもと同じ対応でした。

大正区役所名物課長の内山さんの地域の紹介の後、会社の歴史や業務内容などをお話ししました。



木場（木材置き場）を見学していただいて、日本産、外国産の紹介や用途などを説明しました。

国産と外国産材の日本での流通比率を質問しましたが、男子1名がばっちり当てました。

2015年の統計ですが、国産材の使用率は28%です。国の目標50%にはまだまだですが、着実に近づいています。

定番の木を切ることは良いことか悪いことかの質問には、「悪いこと」と答えた生徒さんの方が多くいました。

木を活用していくことの大切さを伝えましたが、率直な考えを聞けて、そして考え方を教えてくれたことをうれしく思います。



あとは加工体験。ベニヤなどをカットする機械の体験やパズルの研磨、座彫り、木材切り、筆書きなどを体験してもらって、あっという間に1時間半が過ぎました。



浪商と言えば野球というイメージですが、甲子園をめざしている子やサッカーをやっている人など、さすがスポーツをしている生徒さんが多かったようです。

観光バスでの移動の様で、大正区内でバスの「浪商」表示に、地域の人から「頑張ってや！」という声を掛けてもらったそうです。



私たちの会社を選んできてくれたので、皆さんテンションが高くて乗りの良い雰囲気でした。（さすが高校生、おべんちゃらがうまい！）

これからも野球やスポーツに一生懸命に励んでください。

P S 木材切りを一生懸命にやってくれた生徒さんへ

挑戦してくれてありがとう。自分のペースを磨いて素敵なオンリーワンになってください。

